

鹿屋市手話サークル やまびこ



鹿 屋市手話サークルやまびこは、昭和50年4月に発足しました。大隅地区唯一の手話サークルであるため、会員は大隅各地から集まり、現在23人が所属しています。週に1回の定例会は、会員同士の自己研鑽の場、親睦を深める場となっています。

なお、定例会には、会員だけでなく、「鹿屋市聴覚障害者協会」の会員である聴覚障がい者も集まります。日頃から聴覚障がい者と一緒にコミュニケーションを図りながら勉強かつ活動しているのが特徴です。



主な活動としては、鹿屋市社会福祉協議会が開く手話奉仕員養成講習会のサポートや、講習会修了後の受け入れ、出前講座の実施などがあります。また、月に1度、機関紙「やまびこ」を発行し、サークルや「鹿屋市聴覚障害者協会」の会員のほか、関係機関にも配布しています。このような活動を通して、多くの人に聴覚障がい者に対する正しい理解と認識を深めてもらうとともに、聴覚障がい者の社会生活に少しでも役に立てればと思っています。

鹿屋点訳友の会



「社協だより」を定期的に点訳しているほか、「鹿屋市ふれあい福祉まつり」の会次第や「ごみ分別一覧表」など、市から依頼されたものや、個人から依頼された本などを点訳しています。点訳の作業はパソコンで行います。例えば「社協だより」の場合、まずページごとに各会員で分担して点訳します。それを編集担当者が集約し、1冊にして校正を行います。そして、さらに、別の人が再度校正を行ったうえで、点字用印刷機で印刷して、視覚障がい者に届けるのです。

何度も校正を行う工程があつてこそ自信のあるものになり、でき上がると達成感があります。

少ないメンバーで活動していますが、今後も現在の活動を継続し、視覚障がい者の皆さんと、さらに交流を深めたいと思っています。



鹿 屋点訳友の会は、昭和50年ごろから活動している団体で、現在11人が加入しています。月に2回、定例会を開催しているほか、勉強のため、市外の研修会に参加することもあります。

視覚・聴覚障がい者の皆さんを支えるために 「障がい者ボランティア」

市内には、視覚障がい者や聴覚障がい者に、眼や耳に障がいを持たない人と同等の情報を提供する障がい者ボランティア団体が活動しています。今回は、「広報かのや」や「社協だより」などの音訳や点訳、市内各イベントでの手話や要約筆記など、様々な場で活躍する4つの団体の活動を紹介します。

かのや市音訳グループ せせらぎ



グループには鹿児島県視覚聴覚障害者情報センターの録音図書を手掛けている会員もいます。なお録音図書はインターネット等から利用いただけます。

これまでの活動が評価され、10月には鹿児島県社会福祉協議会会長賞を受賞しました。音訳してほしいなど、ご要望がありましたら、ぜひご連絡ください。これからは会員相互の技術向上を図っていききたいと思います。



か のや市音訳グループせせらぎは、平成13年9月に発足し、現在、会員9人で活動しています。

モットーは、眼に障がいを持たない人と同じように、早く正確に視覚障がい者へ情報を届けること。「広報かのや」や「社協だより」は、発行日に早速録音し、CDにして視覚障がい者へ届けています。

月に1回、研修会も開催しており、アクセントや表現の仕方などをお互いに勉強し合います。音訳は、文字だけを訳するものと思われがちですが、写真や絵、グラフ、色合いなども言葉で説明します。会員同士で表現を学び合うことはとても大切なことです。

要約筆記サークル ひとしずく



要 約筆記サークルひとしずくは、聴覚に障がいのある人、また聞こえにくい人へ必要な情報を伝えることを目的に、平成17年5月に発足しました。一時は会員が1人だけという頃もありましたが、現在は8人で活動しています。

講習会やイベントの前には、集中的に集まって準備を行います。「鹿屋市ふれあい福祉まつり」をはじめ、市内外の福祉イベントへの要約筆記の依頼は、年に5〜6回ほどあります。

要約筆記は、話の内容をすばやく要約して書き写す作業で、それには大変な集中力が必要です。このため、3〜5人で役割を分担し、10分程度ずつ役割を交代しながら行います。

トレーニングとして、家でテレビの音声を聴きながら、頭の中で要約するといったこともやります。

10月には鹿児島県社会福祉協議会会長賞を受賞しました。まだまだ知らない人も多い要約筆記ですが、活動を通して多くの人に知ってもらうとともに、一緒に活動できる仲間がもっと増えてくれたらいいなと思っています。

鹿屋市社会福祉協議会では、毎年、視覚・聴覚障がい者の自立の促進を目的としたボランティア養成講習会を開催しています。また、ボランティアを必要とする人と相談も受け付けています。

☎鹿屋市社会福祉協議会
0994-44-2277